宮崎商業高校　新校旗

おがたま会報

発　行／宮崎商業高校同窓会
企画・編集／おがたま会 広報部
印　刷／有限会社 田代印刷

同窓会会長　大野和男

同窓会会員におかれましては益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。昨年十一月七日に開催されました宮崎商業高校創立九十周年記念式典及び祝賀会が多くのご来賓の出席のもと盛大に開催されましたこと先ずご報告申し上げます。

宮崎町立宮崎商業学校が創立されそれ以来同窓会会員数延べ二万人以上の方々を輩出し、皆、郷土宮崎のみならず全国津々浦々で大活躍しておりますこと皆様すでにご承知のとおりでございます。

私共同窓会ではこの九十年の歩みの中で大きな事業としまして約二十年前からの継続事業でありました宮商会館建設を具体化し平成十七年にようやく完成をみることができました。現在部活動の宿泊そしてあらゆる研修の場として有意義に活用されています事ここにご報告させていただきます。

そして今回九十周年のこの輝かしい記念すべき年にあたり昭和三十二年新制宮商から五十年を経過した校旗を新調し母校に贈呈することを大きな記念事業計画にかかげ募金活動を行いました。この紙面で紹介されてますとおり実に立派な校旗を贈呈することができましたことお世話になった母校に少しなりとも恩返しが出来ました。これも一重に会員の皆様方の協力のたまものと感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

学校長　久保良一

本年度は、宮崎商業高等学校が創立九十周年の節目を迎え、多くのご来賓、歴代の校長、旧職員、保護者、同窓会（おがたま会）等、多くの皆様のご臨席を賜り、十一月七日に盛大に開催されました。また、式典には前全日本女子バレーボール監督の柳本氏に講演をお願いし、また同窓会（おがたま会）より宮商校旗を寄贈していただきました。この式典はまさに校歌の一節にもありますように「宮商校の名にあつまりて」皆様と共に創立九十周年の式典をお祝いできたことに、大きな慶びを感じているところであります。

さて、本校は、幾多の変遷を繰り返しながら、大正、昭和、平成の時代の流れの中で、戦前、戦後等の混乱期やまた日本の高度成長期、その後の経済の不透明期等、それぞれの時代において、商業教育が果たしてきた役割は非常に大きいものがありました。その時代その時代の多くの困難を乗り越え、社会の要請に応えるべく教育に精魂を傾けられた歴代の校長先生を始め、諸先生方、そして学校を支えてくださった保護者や地域住民、同窓会（おがたま会）の皆様のご尽力と、本校へ寄せる思いがいかに強かったかを深く感じるものであります。

この創立九十周年の年を新たな始まりとして、百周年までの十年間で教育の質をさらに高め、明日の宮崎、明日の日本を担う人材の育成に尚一層の努力をすることを式典でお誓いいたしました。この同窓会（おがたま会）も創立九十周年を節目に百周年まで本校の教育を中心に充実、発展することを祈念し挨拶とします。

ＰＴＡ会長　黒木和行

宮崎県立宮崎商業高等学校が、創立九十周年を迎え、無事に記念式典を挙行できました事、卒業生をはじめ、関係各位の方々の、御理解と御支援、御協力があればこそと、改めて、敬意を表する次第であります。誠に有り難うございました。私自身もそうですが、この記念事業にたずさわることのできた学生諸君も、改めて、重ねられた校史の伝統と実績を築く現役学生として、襟を正す、良ききっかけになったと心から喜んでおります。

今、学生たちは「夢実現」という事で、学生生活を資格取得に、部活にと充実させております。時代に貢献できる人材育成のうえからも、ＰＴＡとしても、支援サポートしてやみませんが、よき先人、先輩たちが、九十年の歴史の中に、同窓会として連綿として続き、良きお手本として存在しておられるという事はやはり、大きな励みであると実感しました。

本校を中心にして、心豊かに郷土愛、社会愛、母校愛をはぐくみ、思いやりと、誠意を軸に、次世代育成が連綿と続きますように、ますます、お元気で、ご活躍頂き、今後ともご指導、ご鞭撻頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

東京同窓会

井上　幾久雄

創立九十周年。おめでとうございます。ひと口に九十年といいますが、その時代時代に関わった職員、生徒たちのなかには、困難に耐えた年月もあったことでしょう。

私たちの宮商東京同窓会も、諸先生や大先輩方の尽力によって、それなりの歴史を築いてきています。旧制の宮崎商業学校、宮崎中学校商業科、それに新制宮崎商業高等学校の出身者を網羅し、おかげ様で幅広い人材や、意見に恵まれています。母校の歴史の中で最も大きな出来事はと、ある先輩に尋ねたところ「男女共学」という答えが返ってきました。新制高校の私たちには、普通で当たり前のことだったので、意外なフレーズに、すこし驚きました。

「富国強兵」が国是の時代。軍事教練が折りこめられた学校生活を体験した人たちは、青春時代に遠慮なく、異性との交流を楽しめるというのは、放縦そのものであり、当時の軍国少年にしてみれば、早く三年生になって、弾倉帯をつけ、短剣をつり、三八式歩兵銃を装備して、一人前の格好の良い、戦う男になりたいと思っていたようです。そして現実には旧式で重く扱いにくい鉄砲に、辟易する始末だったようです。戦後の男女共生の新時代を羨ましく思いながらも、女子学生が男子の数を凌駕している母校の姿に、戸惑ってしまうのだそうです。しかし、全ての制度には両面があります。歳末、夕方の木枯らしが舞う街道で、よれて歩いている高校生の男女を見ました。どうでいいような、まるで破滅的な道行きのような歩きです。女性は純情そうで、ひた向きのようですが、こともあろうに男性は、見るからに暴力的なバランスのよくないカップルで、この二人は、一体どこに行こうとしているのでしょうか。新時代の男女共学にも、一触即発の危ない緊張感が潜んでいるのを。目の当たりにした思いでした。　九十周年を迎えた私たちの母校は、これから、どんな運命に曝されるのでしょうか。どんな局面でも、長く続いて、常におめでとうと讃えられるように祈念してやみません。

◀東京同窓会秋季例総会

近畿同窓会

森田　清之

創立九十周年おめでとうございます。歴史と伝統ある宮商で勉学に励み尊敬する師、良き友人にめぐまれたことを誇りに思います。

昨秋新制第一回卒五十周年を記念する同窓会が宮崎で開かれました。当然五十数年前を懐かしむ話もでてきました。

初めて宮商を訪れた時　敷地には職員棟が一棟、校舎が二棟。運動場らしき草原が一面あるだけ。これが我々の学び舎かと寂しい気分になったのを覚えています。

男子三クラス、女子三クラスです。廊下を利用した入学式が終わりいよいよ授業開始、と思ったらまずやらされたのが校舎周りの整地作業です。多分畑の跡地に校舎が建てられたのでしょう。周囲は芋が栽培されていたような畝がそのまま残っています。全員で畝を削り根っこは抜きモッコで土砂捨て場まで運搬します。重労働の日々はしばらく続きました。

しかし今考えるとこれが一回生の絆を深めている最大の理由ではないかと思います。作業をしながら交わすさりげない会話の裏には悩みや苦労がのぞき情報の交換はお互いを未知の領域に運んでくれました。机の前で得る知識より社会に出て役立つための基礎を自然に学んだ気がします。

我が母校が未来にむけ益々存在価値を発揮するためには時代のニーズにあった生徒を社会や上級校に送りだすことにあります。

教師は常に時代を先取りする先見性を、生徒は伝統校で学ぶ自信を、そして卒業生は母校への感謝の気持ちで各種行事への積極参加が肝要ではないでしょうか。

土魂商才

（第八回目）

８回卒●出水廣司

昭和四二年二月二十二日・・我ら八回卒業生・四八七名の記念すべき、宮商卒業の日でありました。

団塊の世代として生まれ、早や六〇年余・・懐かしい宮商の思い出ばかり蘇りますが、中でも三年生時の昼休み時間、五～六名の仲間と、大淀川堤防に繰り出し、ダクマエビ（手長エビ）釣りに興じて居ました。釣り糸と針は持参して、エサは堤防に咲く野アザミの中に居る白い小虫・・ダクマエビとの真剣勝負、当時は、この釣りに嵌まって夢中になり、時の経つのも忘れてしまう・・楽しい時間は瞬く間に過ぎて休み時間は終わってしまう・・「いかん・・もう授業が始まっちょる・・」誰かの悲鳴に一目散に教室へと駆け出す・・案の定、授業は始まって居た。

悪い事に、この日は女子クラスと合同の二時限授業の商業実践・・しまった～と教室入り口・・何をしよったっか～の先生の声に、誰かが、「就職指導で職員室に行ってました・・」と見え透いた言い訳に、「皆んな堤防でエビ釣りじゃったっちゃろ～」と黄色い声に、「ほんとか～」と先生に聞かれて、声を揃えて、「ハイ」結果、廊下に横一列に並んで、愛のビンタを一発ずつ頂戴・・。しかし、ビンタの痛みよりも、大勢の女子の前であった方が恥ずかしかった。

和知川原の地に大宮高校から分離独立して、新制宮崎県立宮崎商業高等学校として開校したのは昭和32年…その時用意された校旗が役割を終えるまでに50年を経て居る。

久保学校長から新しい校旗を同窓会の手で‥とのご相談を受けたのは平成20年でありました。同窓会では、検討の結果卒業生各位の意向を結集した新校旗でありたいと平成21年に趣意書を発送する事に決定し、学校へ打診、様々な意見も御座いましたが、前校旗とほぼ同じデザインの新校旗を発注致しました。（80㎝×117㎝）

ああ大淀の久遠の流れ～草芳しく～そは我が心

新校旗の下、永遠に宮商生の意志が結集して我ら母校の発展を祈りたいものです。

陸上部

写真：清山ちさと（右）と川崎葵（左）

100m　⑧川崎　葵　11秒98
（予選の準決勝で11秒94の自己新）都留文化大へ進学。
400mH　⑧位梅元　里菜2年　1分4秒15
（予選の準決勝で1分1秒26の県高校新）

400mリレー予選　月野・清山・川崎・山下47秒01
（県新、県高校新）

女子学校対抗得点　①東大阪大敬愛62点　②鹿児島女子26点
③宇治山田商24点　６位入賞宮商17点
２年生梅元里菜は21年10月　甲府市での日本ジュニア・ユース選手権、400mH、１分１秒42で優勝。

テニス部

奈良県明日香庭球場
ダブルス　準優勝　大原　かのこ・斉藤　杏奈

カヌー部

京都府京丹後市久美町久美浜湾カヌー競技場
カヤックフォア　③山元・原口・吉田・森
学校対抗得点　優勝　谷地（山形）36点　③宮商19点

清山　ちさと　３冠達成

第64回「トキメキ新潟国体」少年女子Ａ100mＨにおいて13秒52で優勝、第25回「日本ジュニア陸上競技選手権」女子100mＨにおいても 13秒70で連覇し、夏の「全国高校総体」と合わせて３冠の偉業を達成しました。　筑波大へ進学。

野球部

準優勝……夏の甲子園予選、23年ぶりの県立校対戦は
５－１で都城商が甲子園出場。
１年生大会…優勝　（５年ぶり３度目）
昨年11月、準々決勝戦は宿敵日南学園と延長15回、
５－４のサヨナラ勝利、決勝戦も宮崎西を延長10回、
２－１でサヨナラ優勝。

歓喜のワン・ツー

09・近畿まほろば高校総体（近畿2府4県）奈良市鴻の池陸上競技場での100mＨで優勝清山ちさと、2位川崎葵。
100mＨ
①清山　ちさと　13秒44
高校歴代2位タイ（県新、県高校新）
②川崎　葵　13秒49
高校歴代4位　（県新、県高校新）
先ずスタートが得意な川崎が飛び出し、後半が持ち味の清山が最後に逆転し僅差のワン・ツーフィニッシュを飾った。
川崎は、２年生時のインターハイ同種目の７位入賞を果たしている。

◆宮商事務局　濱田　登（27回卒）〒880-0023 宮崎市和知川原3-24 宮商内 ☎0985-22-8218
宮商会館　〒880-0022 宮崎市大橋3丁目230-2 FAX ☎22-8210
◆東京同窓会事務局　井上幾久雄（３回卒）〒164-0001 東京都中野区中野4-11-5-103 ☎03-5318-2622
◆宮崎同窓会連絡所　布施保郎（１回卒）〒880-0053 宮崎市神宮2丁目1番21号 ☎0985-22-7959